

然別湖

湖のアクティビティ

陸と水から湖を探検

然別湖は標高約 810 メートルで北海道最高所にある湖で、成層火山と溶岩ドームに囲まれています。周辺の山々の斜面に生い茂る深い森には、シマフクロウやエゾモモンガなど、様々な野生生物が生息しています。湖周辺のガイド付き自然散策は一年中利用可能です。冬にはスノーシューツアーで未踏の地を探検でき、春から秋にかけては、カヌー、カヤック、遊覧船が景色を楽しむ人気の方法となっています。晩春には、ガイド付きの氷上ウォークがあり、ドライスーツを着用して湖の溶氷をジャンプするスリリングな体験を楽しめます。アクティビティに関する情報は、湖の南岸にある然別湖ネイチャーセンターで入手できます。

ネイチャーセンターのウェブサイト

然別湖コタン

雪と氷の村

冬になると、然別湖コタンのために、凍った湖上にかまらの氷の村が作られます。1980 年から開催されているこのイベントでは、4～5 トンの雪と凍った湖から切り出した氷を使って 30,000 個以上の氷のブロックを作ります。これらの氷のブロックを使って、宿泊用のロッジや、来場者が自分で氷のカップを彫れるアイスバーなどの建造物がボランティアらの手によって作られます。さらには湖上に設置された露天風呂もあります。このイベントは、天候と氷の厚さに応じて、1 月から 3 月にかけて開催されます。

然別湖コタンのウェブサイト

エゾナキウサギ

氷河期から生き残るウサギ

然別湖周辺の山々の岩場は、キタナキウサギの亜種であるエゾナキウサギの生息地となっています。この寒冷地の哺乳類はウサギ科に属し、花やコケ、その他の植物を食べて生活しています。然別湖周辺の自然散策では、時折その高い鳴き声を聞くことができます。エゾナキウサギ

は、約 2 万年前の最終氷河期の現在より海面が 120 メートルも低かった時期に、陸橋を
通ってユーラシア大陸から渡来したと考えられています。

ミヤベイワナ

湖の宝石

然別湖の水は、オシロコマの亜種であるミヤベイワナの唯一の生息地です。この魚は、数万
年前、火山活動により川が堰き止められて湖が形成された後、孤立した環境で進化しました。
新たな環境での食糧源は限られており、そこに閉じ込められた魚は、湖のプランクトンをより効
率的に摂取するために追加の鰓耙を発達させることでその環境に適応しました。ミヤベイワナ
は通常、体長約 40 センチメートルまで成長し、青緑色または茶色の体色をしています。

十勝鹿追ジオパーク

この土地について学ぶ

然別湖は、大雪山国立公園内の約 405 平方キロメートルにわたる十勝鹿追ジオパークの一

部です。然別湖と然別火山群を中心に、このジオパークは地域の地質学的進化について知見を提供しています。この地域の自然史、地質、生物多様性についてより詳しく知りたい方は、火山群のふもとにある十勝鹿追ジオパーク・ビジターセンターをご覧ください。

ジオパークのウェブサイト